

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030C9 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 戸田 清 / Toda Kiyoshi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 443 地域環境データ解析室2(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D1 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 西久保 裕彦 / HIROHIKO NISHIKUBO | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 445 環境政策実験室2(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D2 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 渡辺 貴史 / Watanabe Takashi | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 渡辺 貴史 / Watanabe Takashi | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 渡辺 貴史 / Watanabe Takashi | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 402 フィールドリサーチ解析室(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D3 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 太田 貴大 / Ota Takahiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 太田 貴大 / Ota Takahiro | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 太田 貴大 / Ota Takahiro | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 428 社会環境資料解析室3(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D4 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 関 陽子 / Seki Yoko | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 関 陽子 / Seki Yoko | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 関 陽子 / Seki Yoko | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 409 学系セミナー室(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D5 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 吉田 謙太郎 / Yoshida Kentarou | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 吉田 謙太郎 / Yoshida Kentarou | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 吉田 謙太郎 / Yoshida Kentarou | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 4 1 7 - 1 オープンラボ | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D6 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 藤井 秀道 / Hidemichi Fujii | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 藤井 秀道 / Hidemichi Fujii | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 藤井 秀道 / Hidemichi Fujii | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 447 環境政策実験室3(4F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D7 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 河本 和明 / Kawamoto Kazuaki | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 242 動物生態学実験室(2F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D8 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 高尾 雄二 / Takao Yuji | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 高尾 雄二 / Takao Yuji | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 高尾 雄二 / Takao Yuji | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 312 打合せ会議ゼミ室(3F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030D9 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 高辻 俊宏 / Takatiji Toshihiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 高辻 俊宏 / Takatiji Toshihiro | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 高辻 俊宏 / Takatiji Toshihiro | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 117 学生実験室 B (1F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030F1 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 長江 真樹 / Nagae Masaki | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 長江 真樹 / Nagae Masaki | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 長江 真樹 / Nagae Masaki | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 224 学生実験室E(2F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない(講義) |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育(6/28(火)5限目 就職委員会担当) |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施(プレゼンテーションと質疑応答)、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会(講評、総括) |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 金 / Fri 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030F2 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 山下 樹三裕 / Yamashita Kimihiro | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 山下 樹三裕 / Yamashita Kimihiro | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 山下 樹三裕 / Yamashita Kimihiro | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | [環境] 229 環境生理学実験室又は打合せ会議ゼミ室(2F) | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |

| | | | |
|--|---|--|---------------------------|
| 学期 / Semester | 2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester | 曜日・校時 / Day・Period | 木 / Thu 2 |
| 開講期間 / Class period | 2016/04/06 ~ 2016/07/26 | | |
| 必修選択 / Required/Elective class | 必修, 選択 / required, elective | 単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas) | 1.0/1.0/1.0 |
| 時間割コード / Time schedule code | 201605810030F3 | 科目番号 / Subject code | 05810030 |
| 科目ナンバリングコード / Numbering Code | | | |
| 授業科目名 / Subject | 初年次セミナー(環境) / First-year Seminar | | |
| 編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus | 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA | | |
| 授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject | 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA | | |
| 授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s) | 仲山 英樹 / Hideki NAKAYAMA | | |
| 科目分類 / Class type | 教養ゼミナール科目, 統合科目 | | |
| 対象年次 / Year | 1, 2, 3, 4 | 講義形態 / Class Form | 講義, 演習 / Lecture, Seminar |
| 教室 / Class room | 学部問い合わせのこと | | |
| 対象学生(クラス等) / Object Student | | | |
| 担当教員Eメールアドレス / E-mail address | | | |
| 担当教員研究室 / Laboratory | | | |
| 担当教員TEL / Tel | | | |
| 担当教員オフィスアワー / Office hours | | | |
| 授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives | 専門科目への橋渡しの役割。科学的な思考方法、資料収集能力、コミュニケーション能力、自己表現能力を身に付ける。 | | |
| 授業到達目標 / Goal | 知的活動への動機づけを高める。科学的思考力と学習・実験の計画能力を育てる。文書作成、プレゼンテーション、ディスカッションにより自己表現能力を育てる。学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。 | | |
| 授業方法(学習指導法) / Method | 受講生それぞれが環境科学分野で研究したいテーマを、目的、方法、成果の予測を含めて考えさせ、口頭で発表させる。全員との話し合いでテーマを1つ若しくは複数に絞り、グループに分けてそれぞれのテーマについて調査研究を行う。毎週、各グループでテーマの進捗状況、今後の展開方法、計画等について話し合い、その検討結果を発表する。各グループ別に、中間報告ならびに最終報告を、口頭発表させる。質疑応答の結果を踏まえて、報告レポート集を作成、提出する。また、各学生が分担した部分についての個人レポートも作成させ、教養セミナーを行うに当たっての課題探求能力・問題解決能力について評価する。 | | |
| 授業内容 / Class outline / Con | 新入生を環境科学へいざなうとともに、知的活動への動機づけ、論理的思考とその表現方法の習得を目的とする。具体的には、新入生が初めて出会う環境科学という学問分野の概要を説明し、受講生自らが選択したテーマについて能動的グループ学習を通じ、人文社会科学的または自然科学的思考方法、グループワークの進め方、実験・調査の計画法、文書やプレゼンテーションによる表現方法などについて学ぶ。高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能も果たす。また、カリキュラムと履修上の留意点等を再確認する。以上により、本学部での学習活動を円滑に進めることをねらいとする。 | | |
| キーワード / Key word | 人文社会科学的・自然科学的思考方法、学習・実験・調査の計画能力、コミュニケーション能力、自己表現能力 | | |
| 教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book | 授業の進行に合わせ、必要があれば随時指示する。 | | |
| 成績評価の方法・基準等 / Evaluation | 授業への取り組み、ディスカッションへの積極参加 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% | | |
| 受講要件(履修条件) / Requirements | | | |
| アクセシビリティ / Accessibility | 長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp | | |
| 備考(URL) / Remarks(URL) | | | |
| 学生へのメッセージ / Message for students | | | |
| 授業計画詳細 / Course Schedule | | | |
| 回(日時) / Time(date and time) | 授業内容 / Contents | | |
| 第1回 | 担当教員と受講生の自己紹介、学部の教育研究活動の紹介 | | |
| 第2回 | 上級生による短期派遣留学の報告会(4/13(水) 5限目 国際交流委員会担当) | | |
| 第3回 | 大教センター教員による演習 | | |
| 第4回 | 大教センター教員による演習 | | |

| | |
|------|--|
| 第5回 | 大教センター教員による演習 |
| 第6回 | 専門教育科目の履修ガイダンス |
| 第7回 | 環境科学へのいざない（講義） |
| 第8回 | 資料収集ガイダンスの受講 |
| 第9回 | グループワーク、レポート作成、プレゼンテーション、ディスカッションの技法に関する講義 |
| 第10回 | 取り組むテーマの選択、グループ分け、グループディスカッション |
| 第11回 | テーマ研究の開始・グループディスカッション、計画案の報告 |
| 第12回 | キャリア教育（6/28（火）5限目 就職委員会担当） |
| 第13回 | グループディスカッション、進捗状況・経過報告 |
| 第14回 | 最終報告会の実施（プレゼンテーションと質疑応答）、レポートの提出 |
| 第15回 | 総合討論会（講評、総括） |